【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2021-181035(P2021-181035A)
【公開日】令和3年11月25日(2021.11.25)
【年通号数】公開・登録公報2021-057
【出願番号】特願2018-112988(P2018-112988)
【国際特許分類】
Ｂ０９Ｂ　3/40　(2022.01)
Ｆ２７Ｂ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０２Ｆ
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０２Ａ
Ｆ２７Ｂ　17/00　ＺＡＢＺ
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０２Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月14日(2021.6.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
リング状部６７には、図９に示すように、処理炉２の中央部側の斜め上方に向かって形成された開孔６７Ａを、リング状の円周方向に所定間隔で複数備えている。直線状部６８には、図１０に示すように、直線状部６８の延長方向に向かって左右両側の斜め上方に向かってそれぞれ形成された開孔６８Ａ，６８Ｂを、直線状部６８の延長方向に所定間隔で複数備えている。また、リング状部６７には、コック付き空気吸入口６９Ｂ，６９Ｃ，６９Ｄが接続されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
乾燥部２Ａにより乾燥された被処理物は、断続的に熱分解部２Ｂ内のロストル６０上にほぼ均一に落下する。この落下した被処理物は、自動着火装置６１によってロストル６０下部より一定時間加熱され、熱分解される。熱分解部２Ｂ内の被処理物は酸化（燃焼）に移行することなく、熱分解が進行する。すなわち、酸素濃度の薄い状態では空気の大部分が窒素となり、熱分解部２Ｂ内は低酸素状態で燃焼が抑制され、熱分解（蒸し焼き状態）が進行する。なお、自動制御盤５には、熱分解部２Ｂの上部、中部および下部にそれぞれ設けられた温度計５８Ａ，５８Ｂ，５８Ｃにより測定された温度が表示されるので、この表示された温度に基づき温度管理が行われる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００４８】
返送配管１２へ送られた空気は吸入口６９Ａから空気吐出管６内へ入り、ロストル６０の下方空間へ直線状部６８の開孔６８Ａ，６８Ｂおよびリング状部６７の開孔６７Ａから斜め上方へ向かって略均等に吐出される。この吸入口６９Ａから低酸素状態が維持されるように空気が吸入されることで、熱分解部２Ｂ内の被処理物の熱分解が進行する。以上の動作は、自動制御盤５により全て自動制御される。